

事業者名	公益財団法人 宮城県結核予防会				
車両種類	胸部X線デジタル検診車				
写真					
主な巡回先	事業所検診： 気仙沼市・加美町・石巻市・栗原市など、仙台市・大崎市など				
	学校での検診： 仙台市など				
	住民検診： 東松島市・柴田町・丸森町・山元町など、仙台市・岩沼市・大河原町・白石市など				
利用状況	年月	稼働日数(日)	巡回先数(箇所)	受診者数(人)	運行距離(km)
	平成30年4月	16	23	3454	1,247.0
	平成30年5月	18	23	2892	1,943.0
	平成30年6月	25	29	4991	2,268.0
	平成30年7月	22	25	5053	1,151.0
	平成30年8月	18	27	5068	1,341.0
	平成30年9月	21	30	4937	1,722.0
	平成30年10月	24	30	8721	467.0
	平成30年11月	10	15	1338	347.0
	平成30年12月	0	0	0	16.0
	平成31年1月	0	0	0	0.0
	平成31年2月	0	0	0	75.0
	平成31年3月	0	0	0	164.0
導入による最も大きな効果	<p>これまで更新を進めて来たものの全ての移行には至らなかったデジタル装置による胸部X線撮影と、従来のフィルム方式による胸部X線撮影が混在している状況が、貴法人の補助事業により整備したデジタル撮影装置搭載胸部X線検診車により、全ての胸部X線撮影をデジタル撮影に移行することが出来た。このことにより、市町村住民の結核・肺がん検診や、事業所の胸部検診など、当法人が検診を受託する全ての巡回先でデジタル撮影による胸部X線撮影を実施し、より精度の高い検診を受診者に提供することが出来た。今後、デジタル撮影による胸部X線撮影を継続して実施し、胸部検診受診者の胸部X線画像を経年で管理することにより、読影時に過去との比較を行うことが容易になるため、新たな胸部異常陰影や陰影の変化の確認に役立ち、胸部疾患の早期発見、早期治療に繋がられるものとなる。また、補助申請時に想定していなかった、画像判定の精度向上に関する取り組みが具体化し、学会発表に至った。今回導入した検診車も重要な役割を担っている。</p>				
補助事業概要の広報資料	https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/koueki/h29/pdf/29-1-067.pdf				